

議 事 録

会議の名称	(仮称) 研究学園小学校、研究学園中学校に関する地域住民説明会
開催日時	令和3年11月27日(土) 開会 10:00 閉会 11:00
開催場所	つくば市立学園の森義務教育学校 体育館
事務局(担当課)	教育局 学務課
出席者	地域住民 11名 事務局説明者 教育長森田充、教育局局長吉沼正美、教育局次長兼教育施設課課長飯泉法男、学校教育審議監根本智、学び推進課課長横田康浩、学務課課長下田裕久、学務課課長補佐東泉学、教育施設課課長補佐大口勝也、教育施設課主任小菅誠也、教育施設主事小池祐輝 こども育成課課長吉田和敏、スポーツ施設整備室室長武笠健一、中央図書館館長松浦智恵子、公共施設整備課課長鈴木彰嘉、公共施設整備課課長補佐鈴木聡、公共施設整備課主査須藤公一
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 教育長あいさつ 3. 職員紹介 4. 説明事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 通学区域について (2) 建設概要について (3) 保護者説明会での質問、意見について 5. 質疑応答 6. 閉会
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長あいさつ みなさん、おはようございます。つくば市教育長の森田と申します。今日は、大変寒い中お集まりいただき、ありがとうございます。皆様におかれましては、日頃よりつくば市の教育のために深い御理解と御協力を賜りまして

本当にありがとうございます。この度、児童生徒の急増に対応するため、(仮称) 研究学園小学校・中学校を令和5年4月に開校する予定です。新設校の学区については、昨年度開催したつくば市学区審議会において、慎重に審議を重ねていただきました。学区が変更となる予定の地域の皆様には、御心配と御面倒をお掛けし大変申し訳ございません。特に、研究学園地区の皆様には、学園の森義務教育学校の開校に伴い、春日学園義務教育学校から学区が変更となりましたが、再度学区に変更が生じる学区案となっていることに対して、大変心苦しく思っております。学区審議会答申の基に、変更が生じる学区は、学園の森義務教育学校区、沼崎小学校区、島名小学校区及び葛城小学校区の一部です。つくば市の教育大綱は、「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を最上位の目標としております。その目標のもと、つくば市には児童生徒一人ひとりに最良の教育環境を提供する責務があり、新しい学校の設置はその責務を果たすために必要なものと考えております。施設については、この大綱の目標を実現すべく、多様な教育環境への配慮、地域との関係や安全安心を実現した学校づくりに重点を置いた整備を考えております。保護者及び児童生徒の皆様におかれましては、今後について御心配、御不安のことと思いますが、今回説明する内容について、皆様からの御意見には真摯に向き合い、対応を検討させていただきたいと思っておりますので、忌憚らない御意見をよろしくお願いいたします。お子様たちのより良い教育環境のためにも、皆様のお力添えをいただきますよう、重ねてお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 職員紹介

4 説明事項

(スクリーンを使用し説明)

5 質疑応答

学園南2丁目男性：本日は土曜日の中、たくさんの方にご説明頂きありがとうございます。3点ほど質問させていただきたいのですが、先程言われていた学区の指定学校変更なんですけれども、こちらは基準を満たしていれば、基本的には変更の許可をいただけるものなのかということと、個人的なところで申し訳ないんですけれども、中学校に上がるところで、今、学園南2丁目葛城小学校区なんですけど、中学校になるとかなり遠くなるので、この基準を満たしているとお見受けしたんですが、中学校に上がるタイミングでこちらの学校にということは許可していただけるのか、ということをお伺いしたいです。あと、素朴な疑問なんですけど、こちらの学園の森義務教育学校は小中一貫で義務教育学校ですが、新しい学校は小学校、中学校で分かれている理由があるのかお伺いしたいと思います。

学務課長：私の方から1点目と2点目についてまとめてお答えします。学区外の基準は確かにありますので、その項目に当てはまれば絶対大丈夫かというのと、そういう部分もないこともあります。それは、基準の中で満たしてはいるけれども、その希望される学校が受け入れ困難校になっている場合は、項目によっても制限させていただいて、例えば兄弟在籍とかそういった理由に限って受け入れ困難校の場合は認めるような形にもなります。この新設校については、まだ開校していませんので、受け入れ困難校にするのかどうかやこれからの児童生徒数の人数に応じたキャパがどうかも考えながら、すべて色々これからやっていくようになるかと思っておりますので、現段階ではなんともお伝えのしようがない状況で開校してからも学区外は個人個人の申請になりますので、一件一件中身を審議して教育局で受理した以降は結果については通知でお出しする形になりますので、窓口やお電話でご相談をお受けすることは可能にはなりますけれども、その際も結果こうなりますという見通し

みたいなお答えはできないので、それはご理解いただければと思います。
申し訳ないですが、現状としてはそういったお答えになります。よろしくお
願いします。

学び推進課長：今ご質問ございました、義務教育学校と小中学校の違いは何
かということですが、つくば市内ですが、いずれの学校も小中一貫教
育ということで9年間を通した教育をさせていただいているところですが、
こちらの義務教育学校は1年生から9年生までが全部一つの学校。今度建設
される学校に関しましては、小中学校が一つの敷地内にあるというふうな違
いがございます。いずれにしても、9年間を通した小中一貫教育という
ことなんですけれども、義務教育学校は一つの学校、今度の学校はそれぞれ
校長先生がいらっしゃる2つの小中学校が同じ敷地内にあるという違いでご
ざいます。以上でございます。

学園南2丁目男性：ありがとうございます。先程の学区の話で、追加でお伺
いしたいのですが、例えば今度の4月に変更のお願いをしたい場合は、いつ
ごろまでに手続きを取るのか、よろしいでしょうか。

学務課長：この学校が令和5年4月開校なので、前の年の11月に通知をお出
しするというお話をさせていただいて、この前の年の11月は、毎年翌年の4
月に新小学校1年生と新中学校1年生になるお子さんには指定の通知をお出
ししていますので、お子さん自体が4月から1年生になるお子さんなのか、
今ほかの学校へ行っていて切り替わるよという方については通知をお出しし
ないんですね。新しい学区に変わるお子さんには、みなさんお出ししますけ
れども、それ以外の学区の方で、新小1と新中1でないお子さん以外には通
知をお出ししないので、もし希望されるような場合は、11月の通知をお出
した方は皆さんお受けしますので、12月以降にお受けをいたしますような形
にはなりません。4月から新しくなる人は、12月以降3月末くらいまでにはお
受けする形にはなりますけれども、申請については1週間から2週間かかる

場合もあります。4月からを希望されている場合には、なるべく早めに出していただいた方が、仮に3月中旬頃にお出しされた場合には、そこから2週間となるとぎりぎりになってしまう。我々、書類上整えば、次の日から行けますよというお話に極端にはなりませんけれども、実際にはお子さんの体操服がないとか上履きがないのは大変だと思いますので、そういったことも含めて逆算して申請を考えていただければと思います。よろしくお願ひします。

研究学園5丁目男性：今日はありがとうございました。3点お伺ひしたいと思います。1点目なんですけれども、春日から学園の森に変わった時に学校の変更許可の基準がその時と変わったのかどうかと言う事を聞きたいと思います。その時に教育的配慮と言う言葉が出てきていて、あまり明確ではなかったかと思っているんですけれども、そこは今URLで出されているところで明確化されたのかと言うところが1点。2つ目としては、図面を見た限り教室数があまり多くないかなと言う印象を受けたんですけれども、学園の森が出来た時もすぐにプレハブが必要だったと言うこともあったので、また別棟が必要になったときに対策が取れるスペースがあるのか、と言うところが2点目。3点目なんですけれども、春日から学園の森に変わったときに、建物の関係は特段工事が終わっていたんですけれども、中身のところがまだまだ充実が足りていなかったと言うところがあります。具体的には図書。図書については、予算がないと言うことをその時に言われておりました。学校は外だけではなくて、中身もしっかり充実した段階で子供に学びを習わせるような施設になっていただきたいなと思っております。特に、県の教育方針でも読書に力を入れるという方針が出されているにもかかわらず、学園の森でもまだ図書数が足りていないと。写真を見る限りかなり埋まっていない棚があるので、その辺については別の課かもしれないんですけれども、予算取りはしっかりしていただきたいなと思っております。以上です。

学務課長：1点目と3点目についてお答えします。まず1点目の基準につき

ましては、その時から変わったかと言われますと、その時から変わった点は何点かあります。それは距離的なものが、今までキロメートルの明確化がされていなかったのに、キロメートルの数値を入れたのが変わった点と、受け入れ困難校というのが、その当時、ほぼ多分なかったと思いますので、その設定がついてあります。教育的配慮については今もあります。それは基準がある程度項目が決まっています、その中に当てはまらないけれども変更が認められるような方もいらっしゃいますので、そういった方を救うための教育的配慮という部分で項目は用意してありまして、それも残っていますので、変更点とすると距離が入ったとか、受け入れ困難校になったと指定しているだけで、それ以外の項目については前回と今まで通り変わっていません。図書予算については、各学校について毎年生徒数児童数に合わせて蔵書というものがありますので、それに見合うような形で予算を配分しております。新設校については、全くない初めからの学校になりますので、そこに出来る限り予算をつけていくということを今も考えておりまして、それは本だけではなくて、消耗品とか必要なものが出てきますので、開校に合わせて我々予算立てをして、なるべくつけていきたいなと考えています。

教育施設課長：続きまして、教室数が少なくで大丈夫なのかというご質問につきまして、お答えさせていただきます。まず（仮称）研究学園小学校からなんですけれども、まず、開校時は18クラスを想定しております。ですので、図面上に記載させていただきました普通教室というのが18個あるかと思えます。その他に特別支援学級というのが、やはり4教室分整備するという形で考えています。その他に、普通教室に隣り合わせまして、多目的室というものを作っております。こちらが学級数が増えた時に普通教室として転用するという位置付けで整備する予定の部屋でございます。それを使うことによりまして、最大的に小学校ですと22学級のクラスまで対応できるというふうに考えています。続きまして中学校なんですけれども、開校時には普通学級

6クラスまで対応できると考えています。開校時には普通学級6学級分を考えております。特別支援学級を2学級分整備すると言う位置付けになっております。多目的スペースをやはり同じように普通教室に転用するという事で、普通教室が最大で9クラスまで対応できるという風に考えておりますので、先ほども申しました、児童生徒数の推計をからしますと、ピーク時に耐えられる数の教室を兼ね備えていると考えています。

研究学園5丁目男性：ありがとうございました。学園の森ができた時も、多目的室の利用という回答があったんですけども、それでもやはり足りなかったことがあって、すぐにプレハブが別棟が建つという流れになったと思うんですけども、そのスペースは確保されていると考えてよろしいでしょうか。

教育施設課長：スペースですけども、今回の新しい研究学園小中学校につきましては、先ほども申しましたように100%の住宅の張りつきが1番早いペースで行われたことを前提として、人数を計算していますので、という事は1番人数が多くなる条件で考えておりますので、余裕を持った教室数が確保できると考えています。

研究学園5丁目男性：ありがとうございます。今、1クラス何人かと言うことがあるんですけども、それが今後少なくなる可能性もあると思います。

1学級が少なくなる、そして先生が子供たちに目が届くようにと言う流れが、今後もし本格化した時にも耐えうるような柔軟的な考えも持っておいてほしいと思います。あと、図書の関係なんですけれども、毎年つけていると言うのは、もちろんそれがあって春日は累積の関係があって増えているのかなと思うんですけども、1番最初の当初は、ばっつけていただきたいなと思いますお願いします。

学務課長：開校の年は、全くゼロから始まりますので、今お話しさせていただいた通り、児童生徒数割で各学校につけていますけれども、新しい学校に

については、なるべく多く予算付けをして充実させた形でやりたいなと思いますので、それは、今後我々がまた財政と相談しながら、できるだけやっていきたいなと思います

上ノ室男性：1点だけお願いします。沼崎小学校の学校区は、すべて新しい学校の学校区に入るのでしょうか。

学務課長：沼崎小学校の中から新しい学校の学校区に入るのは、中東原新田と言う所の1カ所の地区のみになります。それ以外は沼崎小のままになります。

上ノ室男性：ありがとうございます。東光台隣接の酒丸というところなのですが、そこから通うという事は手続き上無理がありますか。

学務課長：お一人目の方のご質問と同じようになるかと思うんですが、指定が沼崎小になりますので、それ以外の学校は学区外の申請になりまして、学区外の基準に見合うか、項目に見合うかどうかと、その希望する学校が受け入れ困難校になっているかどうかという色々なことがありますので、まず申請出された内容を全て基準に合うかどうか審議するようになります。

上ノ室男性：ありがとうございます

研究学園3丁目男性：今日はお話ありがとうございます。私、研究学園3丁目に住んでいる者です。子供が来年4月から1年生になります。2年生から新しい学校に異動するという話になるかと思います。そこに関連して、いわゆる教育に関する質問というか、希望と思います。義務教育学校に入るときに揃えたものを新しいところに入っても同じように使えるのかどうか、そういった統一性というのが、学園の森と新しい学校でどのぐらい共有されているのか、つまりその、こちらで買ったけれども、また新しいものを買わなければいけない、またはこちらで使っていた教材とは全く違うものを使うとか、差が出てしまうのか確認したい。そこからまた話を進めると、この辺の地区全体、学校間の教育のコンセンサスはどれぐらい今後取られるのかなと思います

ます。例えばどう考えてもここに来ているけれども、どうしても新しい学校に行かなければならない場合は、不安と言うのは教育面とかお子さんたちのつながりがなくなってしまうという面が大きいと思うんですけど、新設校とここの学校でいろんな意味で相互交流みたいなものが継続されるような教育プランなのか、そういったところがどの程度まで詰められているのか。図書館の件にしてもそうなんですけれども、例えば中央図書館とか来てらっしゃるけれども、そういったところをお互いの学校が使えるような大きなプラン、いわゆる子供たちの10年後、20年後を見据えたプランっていうのは、つくば市で考えられているのかというのが気になったところです。実際そういったところの問題をクリアしていくことで、私の勝手な意見ですけども、もう少し学校間の子供らの相互交流というのを、もう少し進めていただいてもいいのかなと思います。新設校が地域の方にオープンであるということを強調されてたんですけども、私自身はむしろそこではなくて、今ある義務教育学校と新しい学校で子供たちの教育をどれぐらいつなげていく、例えば何かしらのチャンスで出会う機会がかなりあるとか、そういったところを増やしていただきたいなと思います。やはりコロナの関係で、例えばつくば市教育委員会でやっていた科学フェスティバルで小学校間とか中学校間で、交流とかあったのが、私も参加していて見ていたんですけども、今なかなかそういうのがない。そういったことも今後コロナが収まればできると思うんですけども、やはりそういった小学校間の交流が出来るように、そういったシステムティックなところも作っていただきたいなと。そういった教育的なプランがどこまで進むのか実際どう進んでいくのかをお聞きしたいと思います。すいません、ちょっとぼやっとしてて。

学務課長：まず、制服とかそういうもののお話をさせていただきます。こちらの学校については、中学生以上については制服、それ以下の小学生は体操服があります。今日部活をやっていますので、ご覧になっていただいて、長

袖とかもあると思います。制服については、ブレザーのタイプで、校歌の上に校章があります。あれがワッペンとして制服にもついています。その中で今日この住民説明会をさせていただいた後に、今度は開校準備委員会というのを立ち上げます。この中では、制服とか体操服、校歌校章、PTAの組織といったものを決めていきます。やはり今お話のように制服とかは、結構負担になるものがございます。体操服も上履きから何から一通り新しく買い換えると、当然費用がかかりますので、その準備委員会の中で我々としては皆さんにご提案させていただいて、今の制服をそのまま使うのか、例えばワッペンのところだけ新しいものに変えるのか、男子だとネクタイがありますので、ネクタイのストライプの柄を変えるのか、女子生徒であればスカートの柄を変えとか、そういったものがこれぐらいで値段が変わらないでできるとか、この値段だけで変えられるということも提案しながら、皆さんに新しく作りたいのか一部だけ変えたいのか、どうするのかというのを保護者の方にお伺いしていきながら、そこは決めていきたいなど。なるだけやはり負担がかからないネクタイの柄を変えたり、スカートの柄を変えたり、リボンを変えたり、2,000円とか3,000円でできたときにまるっきり新しく見えるとなれば、そういったことも考えられると思いますので、そういったことについては、これから準備委員会で皆さんと考えていきたいなど。その中で変わるか変わらないかは決めていく形になるかと思います。

学び推進課長：私の方からは、教育の件についてお話をさせていただきます。まず教育の方針の方なんですけれども、令和2年度の当初につくば市教育大綱というものを作りまして、つくば市全体でその理念を共通して進めて参ります。学校が変わったとしても、方向性は同じ方向性を持って進んでいきたいというふうに考えております。ですので、学校が変わったから、方向性が大きく変わるという事はございません。同じ方向を向いて進めていきたいと考えております。また、学校間の交流なんですけれども、分離した学校同士

は計画的に交流を図るという事は、非常に重要なことだとこちらも考えておりますので、こちらも計画的に進めて参りたいと考えております。それに加えて、先ほどお話もありましたけれども、科学フェスティバルなどで他校との交流も図ることができますので、またコロナが明けたら実施することが可能になるかと思っておりますので、こちらも充実させていきたいと考えています。ご提案どうもありがとうございます。

研究学園3丁目男性：ありがとうございます。今コロナの関係でかなり疲弊し、いろんな方策を練っている状況だと思いますけれども、できるだけその子供たちのケアといいますか、大人というよりは子供たち間でお互いの学校が離れたとしても、やはりまたどこかで出会えるという、そういったその交流を後々10年20年30年続いた後で、何かしらつながっていく、そういった息の長い教育システム、教育スタイルをぜひともつくば市としても推進していただきたいなと思っております。そういう意味では話がずれてしまうんですけども、高校なりそういったところをきちんと重点的に補充していただきたいなと、その辺もしっかりつくば市として教育に力を入れていますよ、というところを期待しています。ありがとうございます。

研究学園6丁目女性：研究学園6丁目から来ました。ご存知の通り、この辺は人口が増えているんですけども、住民が集まれる施設がなくて、今回こちらの学校が一般開放を考えられているということで、非常に期待しているんですけども、まだ決まっていないと思うんですけども、具体的な方法とか、どんな感じで解放されるのかということを経験した話では土日だけという話だったんですけども、もっと広げていかれるのかという事と、図書館も開放という話があったんですけども、先程の話を聞いていると図書の数が少ないという話を聞いたんですけども、一般図書は別の予算立てで行われていくのかと、開放された時に施設を充実させていくのに学校の予算を使うのか、それとも別の予算でやっていくのか、そういったところを詳しく

教えていただきたいと思います。

教育施設課長：ご質問ありがとうございます。学校開放に関しては、新設校にかかわらず他の学校でもやっていますが、グラウンドですとか体育館というスポーツ推進の観点から皆様に学校開放しまして、ご使用いただいているという状況にあります。今回新たに考えておりますのが、家庭科室ですとか多目的室また図書室といったところを解放しようと考えております。ただやはり子供たちの安全が最優先でなければ開放しても意味がない、というふうに考えておりますので、そうしますとなかなか子供たちとバッティングするような時間帯ですとか、日にちにお貸しするというのはちょっと考えられない、ということになりますので、そうしますとやはり土曜日ですとか、日曜日の子供たちのいない休校日というのが大前提に考えているところです。ただ、運用面につきましては、まだ今後職員の配置とかも全然未定ですので、これから色々決まっていくわけですので、運用面とか細かいところにつきましては、これから決めていこうという段階ですので詳しいことを申し上げられなくて申し訳ないですが、そのように考えております。また、図書室につきましては、中央図書館の職員も来ておりますが、今後も更なる検討を進めていきたいと考えているところです。

研究学園6丁目女性：ありがとうございます。できれば地域で子供を育てていきたいと思いますので、できるだけ交流できるような形にさせていただければと思います。ありがとうございます。

女性：本日はありがとうございました。2点お伺いしたいと思います。こちらの学園の森ができた、完成したときに、校舎の見学をさせていただいたのですが、今回も新しい学校について見学をさせていただけるのか、もしできるとしたら、それは何月頃を予定しているのかを知りたいと思います。2点目は、小中の連携がどこまで予定しているのか知りたいと思います。具体的には、小中学校は別、併設だけれども、教育としては別と認識しているんで

す。けれども、こちらの学園の森のように、運動会とか1年生から4年生とかということではなくて、小学校の運動会、中学校の運動会と分けてされるのかということと、あと式典、こちらの学校は卒業式は無いと聞いているんですけれども、他の小学校のように継志式とか、中学校に入るときの式典があるのかどうかと言うことです。あと2点目の中になるんですけれども、例えば、小学校中学校で備品とか施設を使う連携ができるといいなと私は思っているんですけれども、例えば図書室、小学生が中学生の図書室に行ったりとか、例えば実験器具とか楽器とか教育の中学生のものであったとしても、そういったものを使ったりできるのかと言うところを知りたいなと思います。よろしくをお願いします。

教育施設課長：ご質問ありがとうございます。私の方からまず見学会の事についてお話しさせていただこうと思います。こちらの学園の森義務教育学校ですとか、同時期に開校したみどりの学園におきましては、開校準備委員会の方々ですとか、保護者または児童の方々向けに見学会をやられたと聞いています。ですから、どのように（仮称）研究学園小学校中学校の見学会をやるかというのは、全く白紙の状態ですので、詳しい事は申し上げられませんが、同様の方向で考えていきたいと思っているところです。

学び推進課長：私の方から小中の連携等についてお話をさせていただきます。今回は、同じ敷地内で小中学校あるということですが、小中の連携については、義務教育学校と同様にですね、例えば小中学生が一緒に行事をしたりとか、交流したりとか、同じようにする方向で考えています。ですので、義務教育学校が持っている同じ敷地にも入るって言うメリットを最大限に生かせるように、敷地内に2つの学校があるんですけれども、交流ですとか先生同士の交流であるとか、そういったことに関しましては充実させていきたいと考えています。あと、式典の方ですが、小学校中学校それぞれ別の2つの学校となりますので、義務教育学校は卒業式がなく1年生から9年

生んであったんですけれども、今回はそれぞれになりますので、小学校の卒業式と中学校の入学式が別に設定されることになります。

学校教育審議監：基本的に教職員の人事の方は、兼務というので進めるのが前提ですので、小中の校舎は別にありますが、先生方の行き来は、基本的に義務教育学校と同じような形でやれるように進めていくつもりではありません。備品についてですけれども、2つの学校ということではあるんですが、自由に使用できるようにしていきますので、ご心配は無いかなと思います。

司会：では皆様からご質問頂戴いたしまして、一通りご説明させていただきましたけれども、そろそろお時間ということで、皆様から頂戴いたしましたご質問やご意見、またこちらから発言させていただいた内容について充分考慮いたしまして、今後の通学区域の決定ですとか、施設の建設を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。本日の説明会の資料及び質疑応答内容につきましては、市のホームページの方に掲載させていただく予定でございます。また先ほどご説明させていただきましたが、さらにご質問ご意見等、また出てきた場合には、市のホームページに専用サイトを用意させていただきますので、そちらにお寄せいただきたいと思います。なお、専用サイトへお寄せいただいたご質問等の内容への回答については個別の回答ではなく市のホームページ上で、公表をもってかえさせていただきますことをご了承いただきますようお願いいたします。本日は大変お忙しい中、貴重なお時間いただきありがとうございました。以上をもちまして（仮称）研究学園小学校、研究学園中学校開校に関する地域住民説明会を終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

8 閉会

